

## 2. 2024 年度事業活動計画(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

2024 年度の協会の活動方針は、2023 年度と同じく、以下を掲げ、2023 年度に十分に実施の出来なかった活動に対して強化していくものとする。

**全国レガシーギフト協会の特徴の再認識：他の団体と以下のポイントでの差別化を図った活動を行っていく**

- ・ 中立公正な組織であり、遺贈寄付を受けることを目的とはしない
- ・ 遺贈寄付推進のために、遺贈寄付の情報発信を網羅的に行い、仕組みを提供し、遺贈寄付を取り巻く社会環境の整備を推進していく
- ・ 団体の遺贈寄付担当者同士のコミュニティを形成していく(交流、相互研鑽の場の創出)

**協会では次のステークホルダーを主要ターゲットと位置付け、優先的に活動を実施していく**

- ・ 加盟団体、レガシーパートナー：寄付者と対峙している組織であり、彼らを通じての遺贈寄付の推進活動が必要となる
- ・ 遺贈寄付仲介組織周辺事業者(金融機関、終活事業者等)
- ・ メディア
- ・ 省庁：内閣府、法務省、消費者庁 等

2024 年度は以下の活動を中心とし、遺贈寄付を取り囲む社会環境の整備に努める。

特に今期の大きな変更は、以下の点となる

- ・ 今まで遺贈寄付ウィークでは協賛団体から協賛金を得て運営を行っていたが、今期は協賛団体を募らず、加盟団体、レガシーパートナー、レガシーサポーターといった協会の会員と展開を行っていく。この方針により、これを機会に協会の会員への加入検討団体の増加を狙う。
- ・ ターゲットの一つである、遺贈寄付仲介業者、終活業者へのアプローチのために、外部の展示会である「エンディング産業展」に出展を行い、遺贈寄付の認知と興味の喚起を狙う。
- ・ 共同事務局運営団体の全国コミュニティ財団協会を、今期より岡山 NPO センターに変更とする。

### 1. 会員向け提供価値の再検討とその可視化と実施に努める

活動の目標

- ・ 新たな会員の獲得とアドバンスレガシーパートナーの増加
- ・ 既存会員の満足度向上

生み出したい価値

- ・ 対象を会員に限定したサービス提供の仕組みづくり

具体的な活動計画

- ・ 会員限定の遺贈寄付サロンの提供等、会員特典の見直し
  - ピアラーニング、事例紹介 等
- ・ 「初めの一步」セミナーを継続して開催し、新しい会員(レガシーパートナー)を募っていく。
  - 大学、社会福祉法人、休眠預金実行団体、と分野を絞っての開催も検討
- ・ 受遺団体理事と協会理事の対談の機会作り
- ・ いぞう寄付の窓口業務の拡大のため、賛同会員に窓口パートナーを加える
- ・ 休眠預金実行団体への啓発から会員加入への誘導
- ・ レガシーサポーターのビジビリティアップ
- ・ レガシーパートナー(営利)の価格設定の再検討(今後、終活関係組織等に加入していただくことを想定として)
- ・ 遺贈寄付サロンを東京以外(大阪、九州)で実施する

## 2. 遺贈寄付ストーリーの収集と発表を積極的に行っていく

### 活動の目標

- ・ 土業、金融、終活事業者への発信
- ・ 寄付者のストーリーに加えて、遺贈寄付を取り次いだ、土業、金融、終活事業者発のストーリーを収集、発信し同業者への認知拡大を目指す。

### 生み出したい価値

- ・ 土業、金融、終活事業者の遺贈寄付の認知拡大

### 具体的な活動計画

- ・ 遺贈寄付ウィーク 2023 で作成した遺贈寄付ストーリー集の発信
- ・ 会員から継続的に収集し、HP 上で発信
- ・ 土業、金融、終活事業者発のストーリーを収集、発信

## 3. 土業、メディア、遺贈寄付仲介組織とのリレーションシップの形成を行う

### 活動の目標

- ・ 終活に係わる人たちに遺贈寄付についての理解が広がり、その人たちから遺贈寄付というもの、またその価値について、寄付者(または寄付者候補)に伝えられる。
- ・ 寄付者(または寄付者候補)に、遺贈寄付について知りたい、と思ってもらえる。

### 生み出したい価値

- ・ 遺贈寄付についての理解が広がり、それを理解している人たちのメリットが可視化されていること。

### 具体的な活動計画

- 土業の研修会、土業専門誌へのアプローチ
- 終活事業社への遺贈寄付の啓発活動として、終活事業社向けの展示会への出展を、レガシーパートナーと共に実施する。
  - 8月のエンディング産業展への出展を目指す
- 9月の遺贈寄付ウィークのタイミングでメディアが遺贈寄付について取り上げてもらえるようなアプローチを実施
- 金融機関への研修、地銀+地域 NPO+協会とのつながりの醸成等のアプローチの検討を開始する

## 4. 遺贈寄付ウィーク 2024 の開催

### 活動の目標

- ・ 遺贈寄付ウィークの開催を宣言し一定の求心力を維持しウィークとしてのムーブメントを維持する

### 生み出したい価値

- ・ 遺贈寄付への社会の関心度の向上

### 具体的な活動計画

- ・ 「9/13 は International Legacy Giving Day です」という情報発信を協会で行う。
- ・ 9月に遺贈寄付サロンを行い、遺贈寄付の海外事情・国内でのベストプラクティス共有を通じて相互研鑽の場とする。
- ・ ストーリーは通年で集めて、新着情報などで紹介し、9月にまとめて発表する
- ・ 遺贈寄付に関わった土業、金融、関係事業者の方々の遺贈寄付ストーリーを集め9月に発表

## 5. 「遺贈寄付の倫理に関するガイドライン」の普及、援用の働きかけ

### 活動の目標

- ・ 遺贈寄付者が安心して遺贈寄付を考え、準備できるよう、「遺贈寄付に関するガイドライン」の認知をまずは加盟団体、レガシーパートナーに対して広げる

### 生み出したい価値

- ・ 寄付者が安心して遺贈寄付を考える事ができる社会

### 具体的な活動計画

- ・ 「ガイドライン」の見直し
- ・ 「ガイドライン」説明のビデオ研修の作成と加盟団体、レガシーパートナー、他の団体への告知
- ・ 既存加盟団体では、全団体にガイドライン援用、遵守をしていただく。

## 6. 行政への働きかけ

### 活動の目標

- ・ 政府へのアドボカシー活動を他団体と共に起こす

### 生み出したい価値

- ・ 躊躇無く動産、不動産を遺贈寄付できる社会の実現

### 具体的な活動計画

- ・ 課題の整理
- ・ 実態の調査、行政に対しての働きかけのマイルストーンのセット
- ・ 共働してくださる方(受遺団体、専門家士業等)とのチーミング

## 7. 事務局の事業、予算規模、体制の拡大

### 活動の目標

- ・ 加盟団体、レガシーパートナー数を増やすことによる財源確保

### 生み出したい価値

- ・ 安定的な協会運営を継続することにより、協会の社会的役割を継続して果たしていけるようにする

### 具体的な活動計画

- ・ 財源として遺贈寄付ウィークの協賛金が減る分、パートナーの増加により補っていくようにする。
  - 加盟団体のポジション(正社員)の変更の検討を行うことにより、「いぞう寄付の窓口」の担い手を増やす。
- ・ 遺贈寄付ウィークの実施方針変更に伴い、減少する業務を加味して、事務局スタッフの業務配分を見直す。